

TREE seminar

5月18日(水) 5209 17:00 ~

三方湖（福井県）におけるヒシの繁茂が 生態系の季節動態に及ぼす影響

加藤 義和 Yoshikazu Kato

東京大学・総合文化研究科

5月18日(金) 5号館2階5209教室 17:00 ~



要旨:

福井県若狭町に位置する三方湖では近年、夏季にヒシ(*Trapa japonica*)が繁茂して水面の大部分を覆うまでになった。ヒシの繁茂によって湿地の生態系が大きく改変されることは世界各地で報告されているが、一年生の浮葉植物であるヒシの季節消長に合わせて生態系がどのように変化するのかについては不明な点が多い。本セミナーではヒシの季節消長に応じて、湖内の物理化学環境に起こる変化および生物群集(ベントス・プランクトン)に起こる変化について紹介する。1年半にわたる定期調査の結果、ヒシの繁茂が極度の酸欠やベントスの減少などの深刻な影響を及ぼすことが明らかになったが、その一方で、ヒシ帯に依存して生活する動物も数多くいることが明らかになった。三方湖では今後、繁茂したヒシをどのように管理していくかが大きな課題となる。湖内の環境や栄養構造にも配慮しながら生態系管理を進める上で必要な取り組みについても紹介・議論したい。

尚、セミナー終了後に懇親会もございますので、そちらにも是非ご参加下さい。